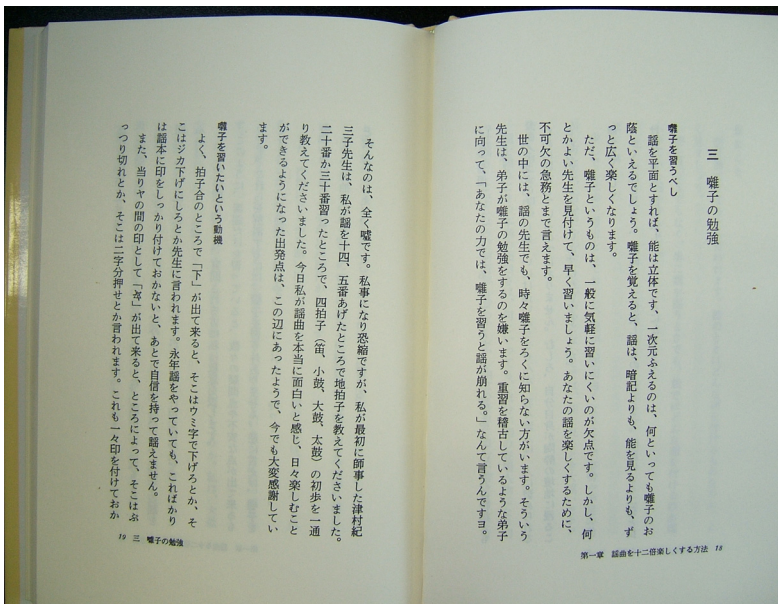
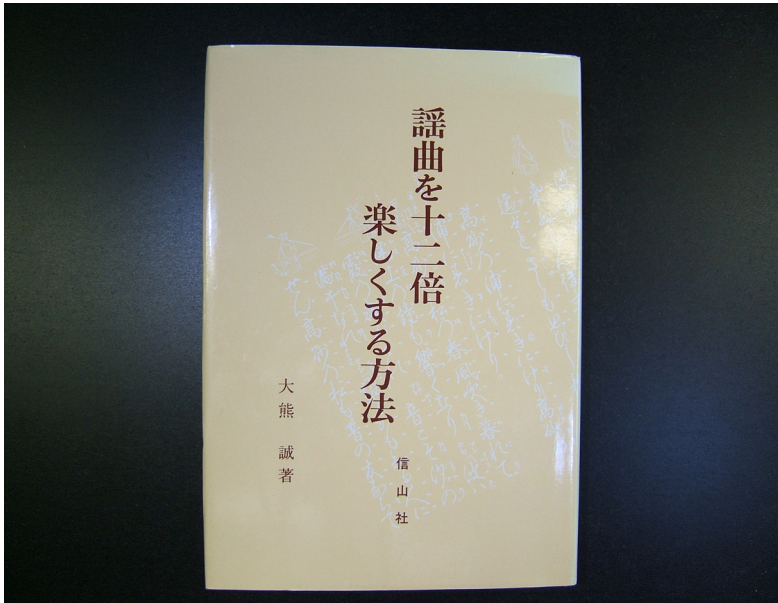


大熊誠 『謡曲を十二倍楽しくする方法』

謡の素人が、謡を学ぶ楽しさについて独自の観点から、順序だてて書く。第一章が「暗記の勧め」という、暗記の効用を述べる節ではじまるのは興味深い。続いて「能を見る」の節があり、さらに「囃子の勉強」という節が続く、適切な時期に囃子学習を始めることの重要性を説く。写真下で著者は、謡を十四、五番あげたところで地拍子の学習をはじめ、二十番か三十番で打楽器をはじめたと述べている。著者自身の実際の稽古の進展の様子が示されて興味深い。



標題 内題：—

標題紙：謡曲を十二倍楽しくする方法

奥 附：謡曲を十二倍楽しくする方法

その他：謡曲を十二倍楽しくする方法（表

紙・背）

著者 奥 附：大熊誠

その他の場所：大熊誠（標題紙・はしが

き・表紙・背）

出版 版 次：新装第一版

出版地：東京

出版社：信山社

出版年：平成2（1990）

その他の場所：—

形態 冊 数：一冊 頁 数：一二八頁

寸 法：20×14（cm）

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現物

備考 初版は、昭和六一（一九八六）年（はし

がき）。